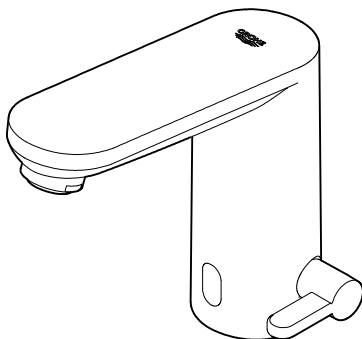


工事要領・取扱説明書

製品名：自動混合水栓

型 式：EUROSMART COSMOPOLITAN E



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
自動混合水栓 EUROSMART COSMOPOLITANE について	5
各部名称	5
仕 様	5
工事要領	6
施工前にご確認ください	7
1. 部品の確認	7
2. 設置場所の確認	7
3. 取付寸法図	8
施工する	9
1. 取付台へ水栓を設置する	9
2. 給水フレキ・給湯フレキを接続する	10
3. 電池ケースの取付	11
4. 試運転	13
5. 施工後の確認	14
取扱説明	16
使用方法	17
1. 使用前の準備と確認	17
2. 水・湯を出す、止める	17
3. 温度調節レバーの操作	18
長期間使用しないときは	18
お手入れの方法	19
保守点検項目と実施の目安	19
クリーニングモード	19
本体の清掃	20
泡沫コアの清掃	21
ストレーナーの清掃	21
電池交換	22
こんなときは	23
アフターサービス	24
消耗品について	24
補修用性能部品について	24
修理をご依頼の際には	24

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では取扱いを誤った場合等の危険の程度を次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

⚠ 警告



湿気が多い場所や浴室には設置しないでください。
結露が生じる場所で使用すると故障や感電の恐れがあります。



絶対に改造しないでください。
火災、感電、やけど、ケガの原因となります。



濡れた手で電源ケーブル、電池ケースに触れないでください。
感電、発火の恐れがあります。



電源ケーブルを電池ケースに挿し込む際は根本まで十分に挿し込んでください。
火災、感電の恐れがあります。

電源ケーブル、電池ケースやセンサー部に水をかけないでください。
火災、感電、誤作動の原因となります。

電池ケースについたホコリは取り除いてください。
トラッキングにより、火災の原因となります。

重要事項:必ずお守りください

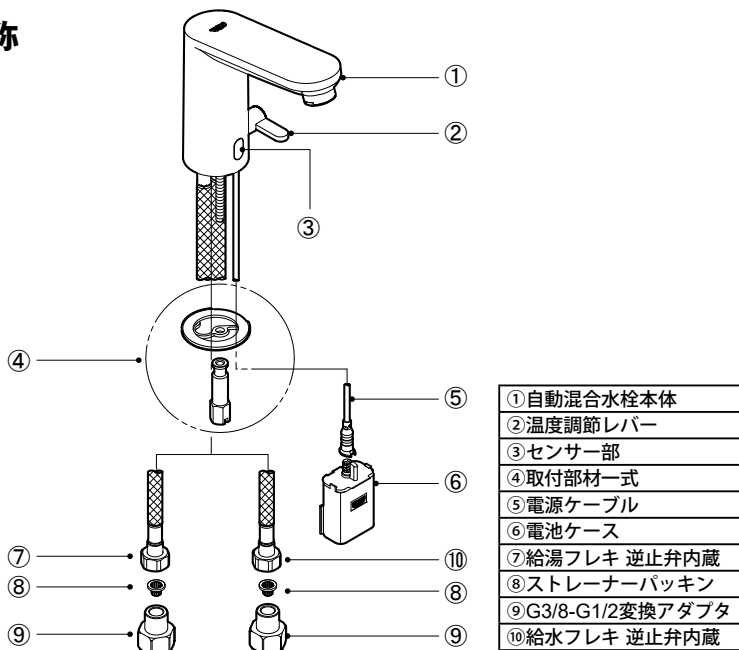
⚠ 注意	
	本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	屋外に設置しないでください。 故障や漏水の原因となります。
	高温の湯(目安:45℃以上)をお使いの場合は水栓の左側表面と吐水口が高温になっています。直接触れないでください。 やけどの恐れがあります。
	首振り仕様ではありません。首振り操作はしないでください。 ゆるみにより漏水の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。 凍結により破損、漏水するおそれがあります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水など使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、感電の原因となります。
	センサー部に障害物を置かないでください。 誤作動の原因となります。
	他所との同時使用により水圧変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 やけどの恐れがありますので、水圧変動を抑えた配管設備にしてください。(分岐場所を遠くにするなど)
	高温の湯(目安:45℃以上)をお使いになるときは温度調節レバーを水側から湯側へ回してお使いください。 やけどの恐れがあります。
	高温の湯(目安:45℃以上)をお使いのあと、止める際は温度調節レバーを水側にして水栓内を冷ましてからから止めてください。 次に使用する際に高温の湯が出てやけどする恐れがあります。
	温度調節レバーの操作はゆっくり行ってください。 漏水の恐れがあります。
	ストレーナーの掃除を行う際は止水栓を閉めてから行ってください。 故障の原因となります。
	配管は正しく行ってください。 逆に配管した場合、水を出そうとしても湯が出てしまい、やけどをする恐れがあります。
	瞬間湯沸器と接続した場合、湯沸器が作動しない場合があります。 給水圧力が低い場合や給水温度が高い場合は湯沸器への流量が少なくなり、湯沸器の最低作動流量に達さない場合があります。
	減圧井を搭載した温水器との組み合わせは推奨しておりません。 水栓の圧力損失が大きく、流量が確保できない可能性があります。

自動混合水栓

EUROSMART COSMOPOLITAN E について

センサー部に手を近づけると吐水し、遠ざけると止水する自動水栓です。湯と水を接続し、温度調節レバーで出湯温度を任意の温度に調節できる自動混合水栓です。電源は電池式で、DC6Vリチウム電池を使用しております。(電池型式:CR-P2)
連続で水・湯を出すと約1分後自動的に止まります。

各部名称



仕 様

型 番	EUROSMART COSMOPOLITAN E	
水栓タイプ	自動混合水栓	
電 源	DC6V 電池式(市販品型式:CR-P2)	
使用 条件	設置環境温度	0~40℃(凍結なきこと)
	水側使用水温	35℃以下(凍結なきこと)
	湯側使用水温	60℃以下(凍結なきこと)
	最低使用水压	静止時0.1MPa(流動時0.05MPa以上を推奨)
	最高使用水压	静止時0.75MPa
	使 用 水 質	水道水(上水道)
設 置 場 所	屋内	
重 量	約1.6kg	
連続出湯時間	約60秒	
特記	減圧弁搭載温水器と組み合わせたご使用は流量が少なくなるため、推奨しておりません。給水源は水道直圧を推奨しております。温度調節レバーを湯側最大位置にしても少量の水が混ざります。水栓への給湯温度は目的の出湯温度より高めを入れてください。(推奨+10℃)	

工事要領

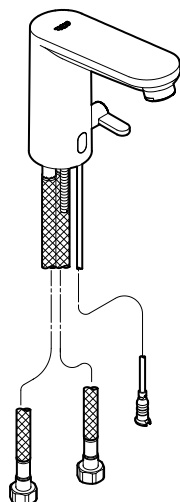
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1.部品の確認

【製品に同梱されています】

水栓本体



付属品

冊子A



冊子B



工事要領・取扱説明書×2

※当冊子はAです。冊子Bは当社製電気瞬間湯沸器EIXと組み合わせる際に必要となります。

※工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。



プラスチックアンカー×2



取付ビス呼び3.5×30



ストレーナパッキン×2



変換アダプタG3/8-G1/2



接続パッキン×2



電池ケース一式



リミッター用ピン



パッキン×1



平パッキン



馬蹄型ワッシャー



締結ナット



リチウム電池
型式:CR-P2

給湯温度が高く、出湯温度を制限したい場合にご使用いただく部品です。冊子Aに使用方法を記載しております。

【お客様にてご手配ください】

①水側止水栓

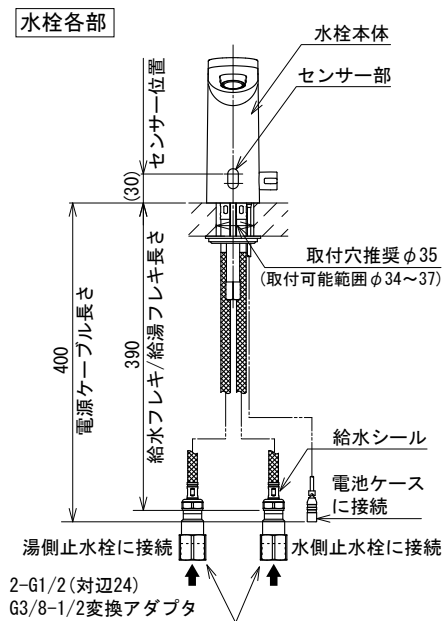
②湯側止水栓

2.設置場所の確認

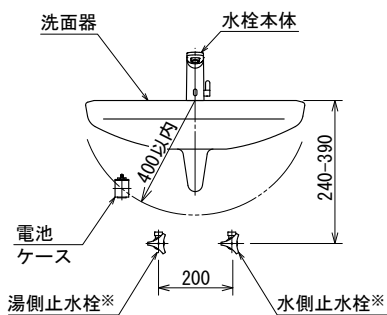
チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結する場所ではご使用になれません。	☐
シンク・洗面器の形状	シンク・洗面器はセンサー部を遮るような形状ではありませんか？ 誤作動する可能性があります。	☐
取付場所	水平な場所ですか？ 水平でない場合はお取り付けできません	☐
給水圧力	0.1～0.75MPa(静止時)の間になっていますか？ 0.75MPaを超える場合は市販の減圧弁等で減圧してください。0.2～0.3MPa程度の水圧を推奨いたします。	☐

3.取付寸法図



水側/湯側止水水栓・電池ケース

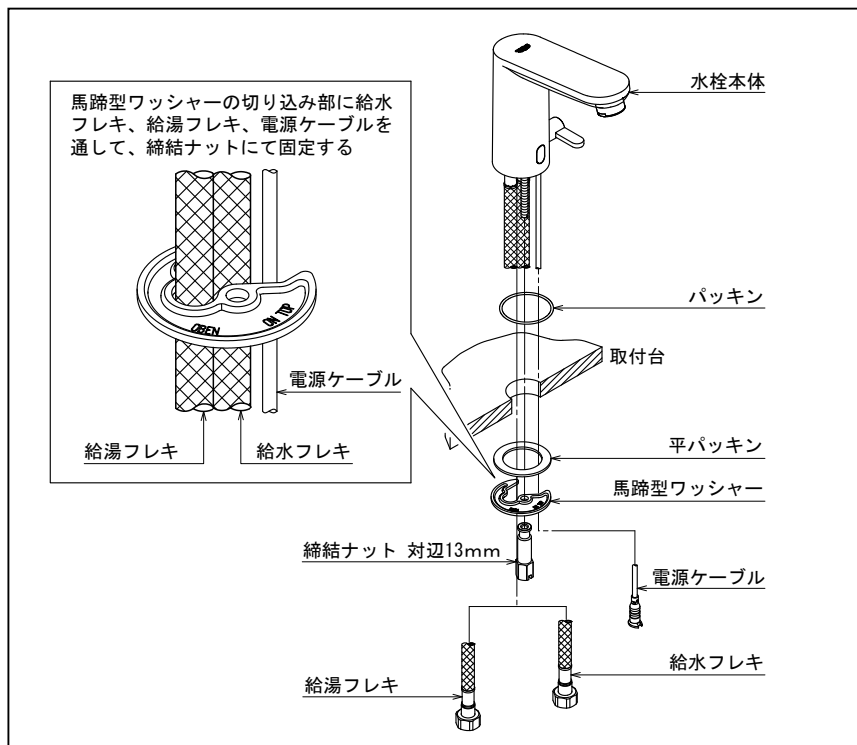


※お客様手配品

施工する

1.取付台へ水栓を設置する

- ①給水フレキ、給湯フレキ、電源ケーブルをパッキンに通します。パッキンは水栓底面の溝につけてください。取付台の上から取付穴に給水フレキ、給湯フレキ、電源ケーブルを通します。
- ②水栓本体が正面に向くように取付台にセットし、台下から平パッキンと馬蹄型ワッシャーを挿入し、締結ナットで締め付けてください。

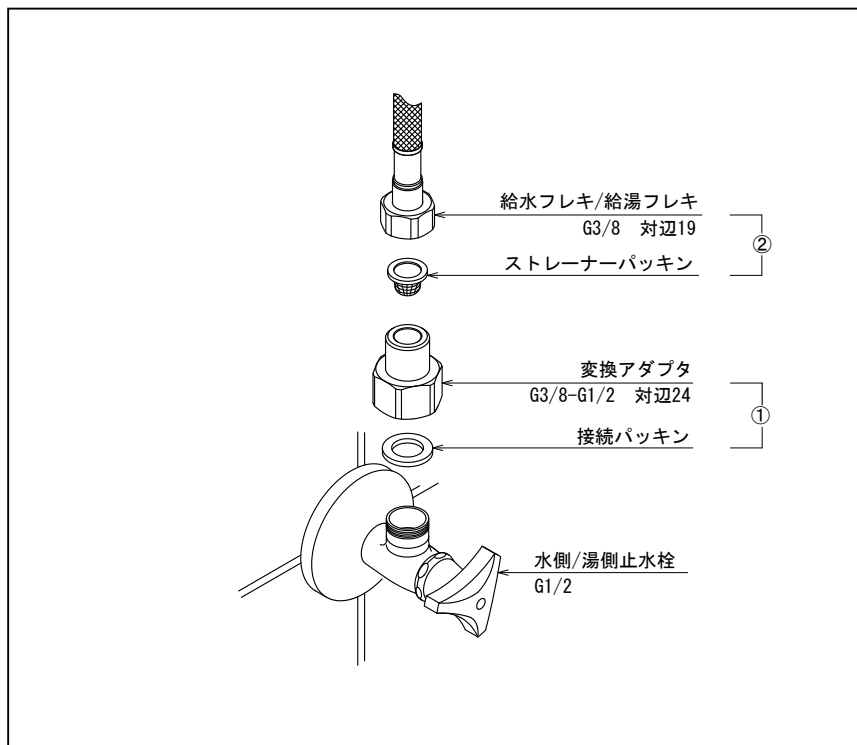


取付時の注意事項

- 水栓側パッキンが水栓溝部からずれていないか確認してください。
- 平パッキンと馬蹄型ワッシャーがしっかり重なっていることを確認してください。
- 取付穴の中心に水栓本体の中心が来るように取り付けてください。
- 馬蹄型ワッシャーには上下があり、縁どりしてある平らな面、“OBEN B ON TOP”と刻印ある面が上面で、平パッキンを挟み込みます。
- 締結ナットにて固定する際、給水フレキ、給湯フレキが潰れたり、捻じれたりといった無理な力が加わらないようにしてください。
- 締結ナットにて固定する際、電源ケーブルを挟み込まないように注意してください。

2.給水フレキ・給湯フレキを接続する

- ①水側／湯側止水栓それぞれに接続パッキンを使って変換アダプタを取り付ける。
- ②水側止水栓には給水フレキ、湯側止水栓には給湯フレキをストレーナーパッキンを使って取り付ける。その際、先に取り付けた変換アダプタが緩まないように、変換アダプタをモンキーレンチ等で挟み、各フレキの袋ナットを締結してください。

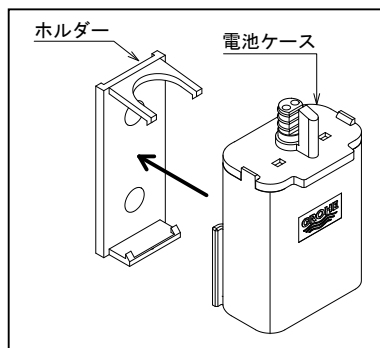


取付時の注意事項

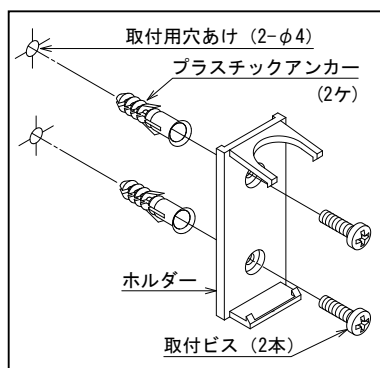
- 湯側／水側止水栓はそれぞれフレキ管長さ390mmの範囲内に取り付けてください。
- 給水フレキ、給湯フレキは折れないように、かつ捻じれがないよう注意してください。
- 給水フレキ、給湯フレキの曲げ半径はR=60以上に配管してください。

3.電池ケースの取付

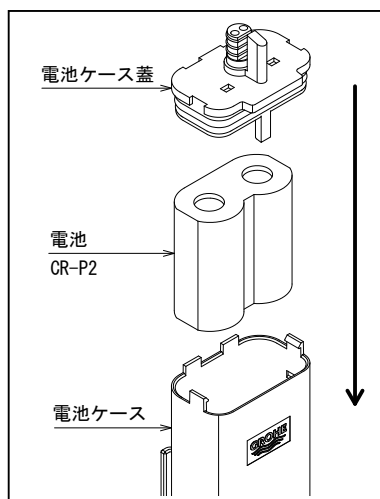
- ①ホルダーと電池ケースを分割します。



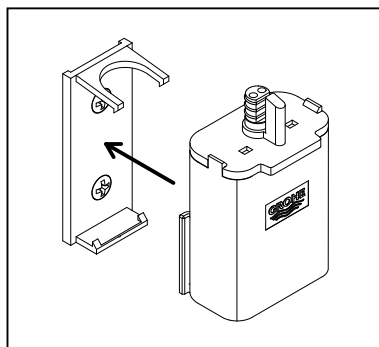
- ②取付位置に穴をあけ、プラスチックアンカーを入れます。二本爪を上面としたホルダーを取付ビスにて固定します。



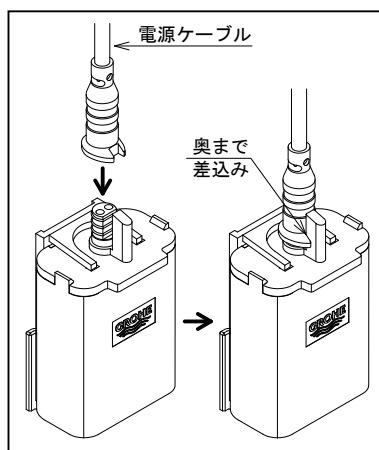
- ③電池ケースの蓋をあけて電池を入れ、蓋をします。



- ④ホルダーに電池ケースを取り付けます。下面の爪を先に掛け、上面の爪を掛けます。



- ⑤電源ケーブルを電池ケースに差し込みます。電源ケーブルの凹と電池ケースの凸を合わせ、必ず奥まで差し込んでください。

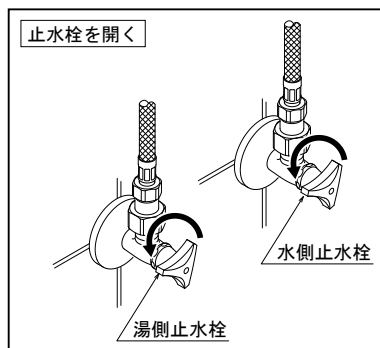


取付時の注意事項

- 電池ケースは電源ケーブル長400mmの範囲内、かつ水が掛からず電池交換が容易な位置に設置してください。

4. 試運転

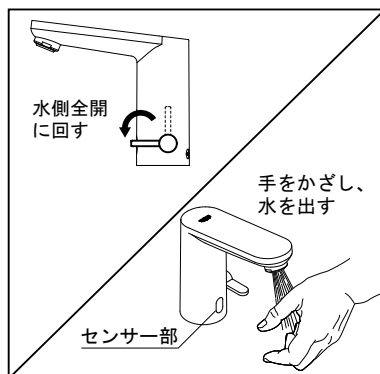
- ① 水側止水栓、湯側止水栓を開けます。



- ② 温度調節レバーを水側全開に回し、センサー部に手をかざすか障害物を置いて水を出してください。

最初は空気を含んだ水が出ますので、空気を含まなくなるまで継続して水を出してください。

※約60秒連続でセンサーが手もしくは障害物を感知すると止まりますが、その際は一度センサーから外し、再度感知させると再び水が出ます。

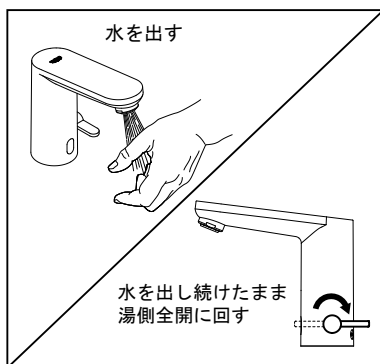


- ③ 空気を含まない水になったら、水を出し続けたまま温度調節レバーを湯側全開に回します。

最初は空気を含んだ水が出ますので、水側と同様に空気を含まなくなるまで水を出し続けてください。

空気を含まなくなったらセンサーから手もしくは障害物を外し、止水します。

※配管のつなぎ目をチェックし、漏水がないことを確認してください。



④水栓の流量を確認します。

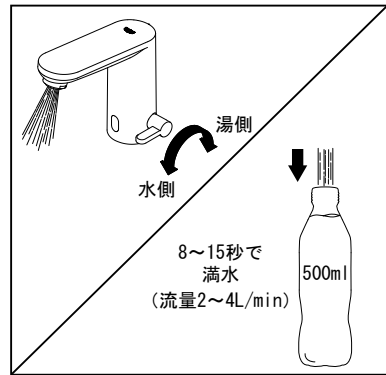
温度調節レバーを水側全開位置にし、センサー部に手をかざし、水を出します。

推奨流量は約2～4L/minです。

流量2～4L/minの間で好みの流量に水側止水栓にて調整してください。

※500mlペットボトルで流量調整が可能です。下表をご参照ください。

ペットボトルで計測する場合の流量の目安	
流量 (L/min)	500mlペットボトルの満水時間
2	約15秒
3	約10秒
4	約8秒



⑤温度調節レバーを湯側全開位置にし、④と同じ手順で、水側と同じ流量に調整してください。

試運転時の注意事項

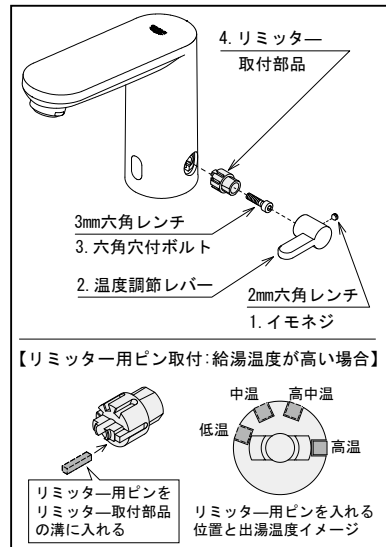
●湯側の水圧は水側の水圧を超えないようにしてください。湯側の水圧が高いと水が混ざりにくなり、高温が出やすくなります。

⑥給湯温度が高い等の場合、温度調節レバーが高温側に回る角度を制限し、出湯温度の制限をかけられます。手順は右図を参照ください。リミッター用ピンのセット位置によって温度調節レバーの回転角度が変わります。リミッター取付部品は溝がある方を水栓側にして取り付けてください。

リミッターは温度調節レバーの操作角度を制限するもので、吐水の出湯温度は給湯温度によってかわります。

※1から順に取り外し、4のリミッター取付部品を外してください。取付は4→1の手順で行ってください。

※初期状態ではリミッター用ピンはセットされていません。



5.施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	水栓にがたつきはありませんか？ 固定が不十分な場合、落下や故障の原因となります。	☐
	電池ケースは水がかからない位置にありますか？ 水がかかる場合はかからない位置に取り付け直してください。	☐
	電源ケーブルと電池ケースはしっかり接続させていますか？ 奥までしっかり接続されていないと、接触不良により動作が不安定になり、故障・火災の原因になります。	☐
配管工事	各配管接続部から漏水していませんか？ 漏水している場合は、接続部分を締め直してください。	☐
	目的の流量が確保できていますか？ できていない場合は再度各止水栓を調整してください。	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

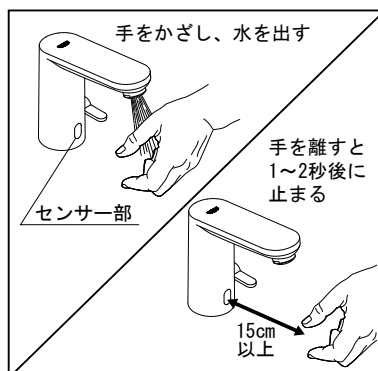
ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	止水栓は開いていますか？	☐
	水栓にガタツキはありませんか？	☐
	各配管、継手に漏水はありませんか？	☐
	電池ケースと電源ケーブルは接続していますか？	☐

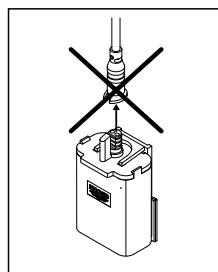
2.水・湯を出す、止める

水栓本体根元部にあるセンサーに手を近付けると水・湯が出ます。センサーから15cm以上手を離すと1～2秒後に止まります。



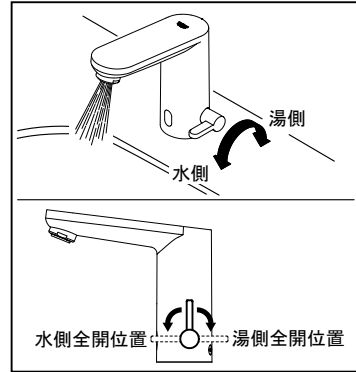
出水・出湯時の注意事項

- センサーの反応範囲は直線的で角度はありません。
- 水・湯を出し続けても約60秒後に止まります（節水機能）。再度使用したい場合は手を一度左右に振るか遠ざけ、再度近付けてください。
- 節水機能は解除できません。
- 水・湯を出し続けたまま電池ケースを外すと節水機能が効かなくなり、止水できなくなります。



3. 温度調節レバーの操作

温度調節レバーを回すことにより、湯水の混合比率を変化させ、出湯温度の調整ができます。
手前が水側、後方が湯側になります。

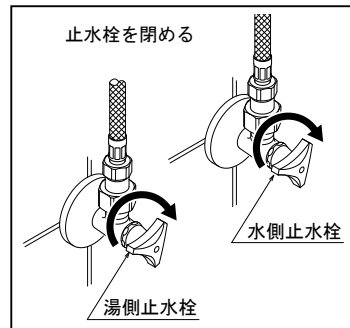


レバー操作時の注意事項

- 高温の湯(目安: 45℃以上)を利用する際は、必ず水側に回してからゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。
- 温度調節レバーを湯側全開でも少量の水が混ざります。水栓に供給する湯温は目的の温度+10℃程度を推奨します。

長期間使用しないときは

- ① 水側・湯側両方の止水栓を閉めます。



- ② センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放します。



お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

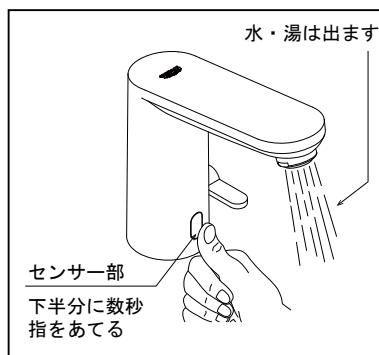
点検項目	点検内容	点検の目安
配管まわりの水漏れ	キャビネット内などの配管接続部から水漏れがないか確認してください。	1回／月
水栓のガタツキ	水栓がぐらぐらしないか確認してください。	
温度調節レバーの確認	操作が固くないか動かして確認してください。	
センサー表面	表面が汚れていないか確認してください。汚れていた場合手を感知しにくくなるため、表面を水拭きしてください。	

クリーニングモード

水栓を掃除する際、センサーが反応して水・湯を出してしまわないように3分間センサーを無効にするモードです。このモードは3分後に自動的に解除されます。

- ① センサーの下半分に数秒間指をあててください。

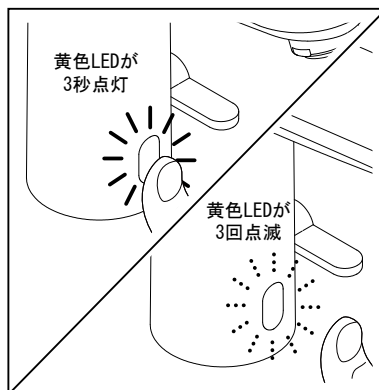
※この時は水・湯は出ます。



- ②センサー部の黄色LEDが3秒ほど点灯したのち、3回点滅します。

点滅終了後、3分間のクリーニングモードに入り、センサーに手をかざしても水・湯は出なくなります。

※クリーニングモード中は黄色LEDが短い点滅を繰り返します。



本体の清掃

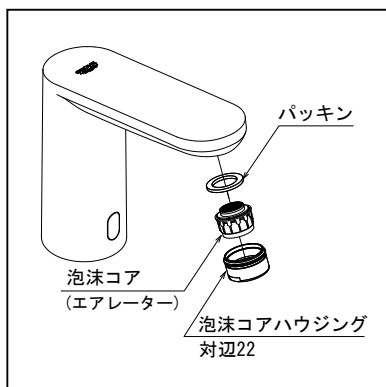
クリーニングモードにした後、水に浸して固く絞った布で拭いてください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。清掃の際、以下のものは使用しないでください。

- たわし ●ナイロンたわし ●アルカリ性洗剤 ●酸性洗剤 ●塩素系洗剤
- シンナー・ベンジン ●油 ●クレンザーや粗い粒子を含む洗剤

泡沫コアの清掃

泡沫コア（エアレーター）のゴミつまりは機能を低下させます。定期的に以下の手順にて清掃してください。

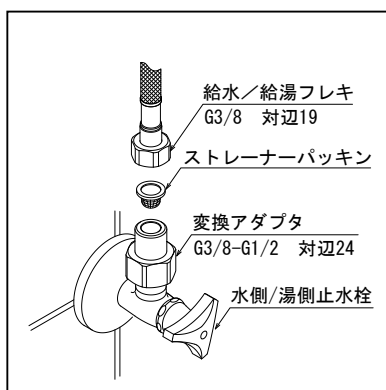
- ①水側・湯側両方の止水栓を閉めます。
- ②泡沫コアハウジングを対辺22スパナ、もしくはモンキーレンチなどで緩めてください。
- ③泡沫コアを取り出し、ブラシなどでゴミを取り除いてください。



ストレーナーの清掃

設置直後はシールテープなどのゴミがストレーナーに付着しやすいです。各止水栓をあけても流量が確保できないなどの問題がありましたら以下手順にてストレーナーパッキンを確認してください。

- ①水側・湯側両方の止水栓を閉め、センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放してください。
 - ②給水フレキ、給湯フレキの袋ナットを緩めてください。
- ※変換アダプタが緩まないように、変換アダプタを工具で挟みながら袋ナットを緩めてください。
- ③ストレーナーパッキンを取り出し、ゴミがあればブラシ等で取り除いてください。



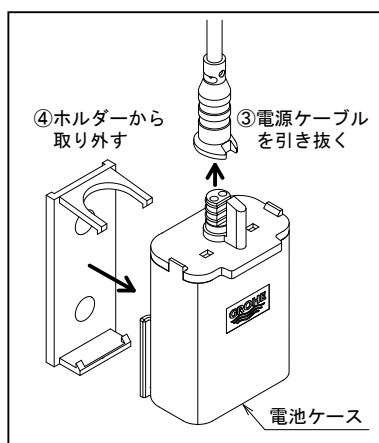
ストレーナー清掃時の注意事項

- ブラシ等でゴミを取り除く際、ストレーナーに傷を付けないように注意してください。ストレーナーに傷が付くと、水が漏れる可能性があります。

電池交換

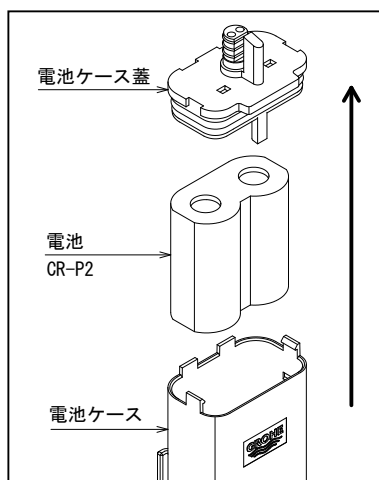
電池が消耗するとセンサー部の黄色LEDが点滅します。点滅を確認したら、下記手順にて交換してください。

- ①水側・湯側両方の止水栓を閉めます。
- ②センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放してください。
- ③電源ケーブルを電池ケースから引き抜いてください。
- ④ホルダーから電池ケースを取り外してください。



- ⑤電池ケース蓋を上引き抜き、内部の電池を交換してください。

※電池の型式は「CR-P2」です。家電量販店などで入手可能です。



こんなときは

正しく運転しない場合や、不調な際の修理で依頼の前にご確認ください。

状況	ご確認ください	対処方法
水・湯の出が悪い(悪く なってきた)	泡沫コアやストレーナー パッキンにゴミが詰まっ ていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いて ください。(→P.19)
水もお湯も出ない または出が悪い	断水ではありませんか？	水道局へお問い合わせください。断水中 は使用できませんので、断水が終了する までお待ちください。断水が終了した後、 お湯が濁っているような場合には濁りが なくなるまで出し続けてください。
	止水栓が 閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。 (→P.13)
	給水圧力が 低すぎませんか？	適正流量を出水・出湯するためには給水 圧力が0.1MPa以上が必要です。給水圧力 が低い場合は管理技術者の方へご相談く ださい。
	泡沫コアやストレーナー パッキンにゴミが詰まっ ていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いて ください。(→P.19)
適温の温度調節が スムーズにできない	泡沫コアやストレーナー パッキンにゴミが詰まっ ていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いて ください。(→P.19)
	水栓に供給される湯温が 低すぎたり高すぎたりし ていませんか？	希望する出湯温度+10℃程度の湯を供給 してください。
	水と湯の圧力差が大き すぎませんか？	温度調節レバーを水側全開位置にした時 の流量と湯側全開位置にした時の流量が 同程度の流量差に止水栓にて調整してく ださい。
	水栓に供給される湯温が 低すぎませんか？	希望する出湯温度+10℃程度の湯を供給 してください。
完全に止水できない	電磁弁にゴミが挟まっ ていませんか？	何度かセンサーに手をかざし、出湯と止 水を繰り返してください。(→P.17)
センサー検知が出来 ない、水が止まらない	電源ケーブルが外れてま せませんか？	電源ケーブルを電池ケースに繋ぎなおし てください。(→P.12)
	電池が 切れていませんか？	電池交換をしてください。(→P.22)
	電磁弁にゴミが挟まっ ていませんか？	何度かセンサーに手をかざし、出湯と止 水を繰り返してください。(→P.17)
	センサーの前に障害物 はありませんか？	ある場合は障害物を取ってください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼はアフターサービス窓口にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より2年	長期間で使用いただくことにより経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。

※使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.25の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45～17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様: 03(3621)2161 関東地区以外のお客様: 裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日の調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.25 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート	
貴 社 名	
ご担当者名	
ご 住 所	
T E L	
F A X	
製 品 型 番	自動混合水栓 EUROSART COSMOPOLITAN E
状 態	

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （２）Ｏリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災・爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙・降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要な場合がございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。か、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 … TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2
東京スカイツリーイーストタワー 24F

ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 … TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。

その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。

※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お電話ください。

関東地区 … TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《担当エリアと営業所》

北海道地区

北海道営業所

〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)

担当エリア：北海道地区全域

TEL : 011 (615) 6681

FAX : 011 (615) 7004

東北地区

東北営業所

〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21

担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

TEL : 022 (357) 0848

FAX : 022 (357) 0847

関東・新潟・山梨・静岡地区

(株)日本イトミック 本社

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F

担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

TEL : 03 (3621) 2121

FAX : 03 (3621) 2130

中部・北陸地区

中部営業所

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)

担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

TEL : 052 (222) 2561

FAX : 052 (222) 2559

近畿地区

関西営業所

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F

担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

TEL : 06 (7177) 4949

FAX : 06 (7177) 4948

中国・四国地区

中国営業所

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)

担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

TEL : 082 (240) 1361

FAX : 082 (240) 1363

九州・沖縄地区

九州営業所

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

TEL : 092 (481) 3911

FAX : 092 (481) 3930

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。